

あの日から7年が過ぎ、女川の町は生まれ変わりつつあり、役場庁舎はこの秋に完成して業務を開始しますし、充実した施設設備の一体型小中一貫校が32年度に開校します。

震災時の辛さや悲しみをエネルギーに変えて、町づくりに力を注ぎ、未来への期待を大きくする大人たちの姿に触れながら、繋ぐ役割と伝える役割を担う131人の生徒がいます。心のケアを必要とする生徒に寄り添いながら、日々奮闘する教職員がいます。生徒の安全を見守り、学校への支援をいとわない保護者・地域の方がいます。それらの力が融合された魅力的な学校を目指したいと考えております。

30年度も女川の学校として、「命輝かせて 女川を愛し未来を創る 心豊かでたくましい生徒の育成」という学校目標のもと、「磨練」「慈愛」「鍛錬」という生徒像をめざして、女川の力になれる生徒を育てていきたいと考えております。